

*本剤の効能又は効果、用法及び用量、禁忌等については、製品電子添文をご参照ください。

キュビシン® 静注用350mgの溶解法

2. 禁忌(次の患者には投与しないこと)
本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

14.3 薬剤投与時の注意：小児には、年齢に応じて30分又は60分かけて点滴静注し、静脈内注射しないこと。

14.4 配合適性：1)本剤は生理食塩液及び乳酸リンゲル液とは配合可能である。

2)ブドウ糖を含む希釈液とは配合不適である。

3)配合適性については限られたデータしかないため、他の薬剤を同一の輸液ラインを通して同時に注入しないこと。他の薬剤を同一の輸液ラインから連続注入する場合には、配合変化を起こさない輸液(生理食塩液又は乳酸リンゲル液)を本剤の投与前後に輸液ライン内に流すこと。

貯法：2～8℃

※コアリング防止のために、常温に戻してから溶解を行ってください。

1 バイアルに針を挿入

7mLの生理食塩液をシリンジに取り、バイアルのゴム栓の中央部に垂直に針を刺す。

[注意] 21ゲージもしくはそれより細い針を用いて調整してください。斜めに針を挿入するとゴム栓の一部が破損し混入(コアリング)するおそれがあります。必ずまっすぐに針を挿入してください。



2 バイアルに生理食塩液7mL注入

生理食塩液7mLをバイアルの内壁をつたわせながらゆっくりと注入する。

*ゴム栓に溝(矢印部)があるので、無理なく針を内壁につたわせることができます。

*本剤は7mLの生理食塩液を加えて溶解することで、50mg/mLの溶解液となります。

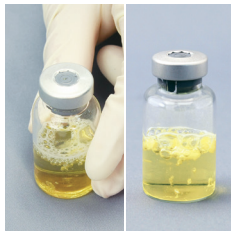
[注意] 内壁をつたわせず薬剤の上に直接注入すると、泡立ちや溶け残りの原因となります。



3 バイアルをゆっくり回し薬剤を溶解させ、溶解するまで約10分間静置する

バイアルをゆっくりと回しながら塊又は粉末を十分に湿らせる。

[注意] この際に、激しく振とうしないでください。泡立ちの原因となります。本剤が完全に溶解するまでに約10分間必要です。静置期間を短縮して使用しないように注意してください。



4 静置後再度ゆっくりとバイアルを回す

数分間再度ゆっくりとバイアルを回す。

[注意] 溶け具合を確認しながらゆっくりと回してください。その際**3**と同じく、激しく振とうしないようにしてください。

5 完全に溶解したことを確認する

目視にて薬剤が完全に溶解したこと(溶け残りが無いか)を確認する。

[注意] 不溶物の残留が無いか、泡立ちが起こっていないかを必ず確認してください。



6 溶解した本剤をシリンジに採取する

針をバイアルのゴム栓の中央部に垂直に挿入し、溶解した本剤をシリンジに採取する。

[注意] この際も**1**の時のように、コアリングに注意して、ゴム栓の中央部にまっすぐに針を挿入してください。



7 1. 30分又は60分かけて点滴静注する場合

6で採取した溶液をさらに生理食塩液で希釈し使用する。

2. 緩徐に静脈内注射する場合

6で採取した溶液をそのまま使用する。

溶解後は速やかに使用すること。やむを得ず保存を必要とする場合でも、溶解開始後、室温(25℃)では12時間以内、冷所(2～8℃)では48時間以内に使用すること。

キュビシン® 成人における投与量体重別換算表

敗血症、感染性心内膜炎							
成人18歳以上/用量6mg/kg/30分点滴静注/静脈内注射							
体重(kg)	必要溶液量(mL)*	体重(kg)	必要溶液量(mL)*	体重(kg)	必要溶液量(mL)*		
30	3.6	54	6.5	78	1V+	2.4	
31	3.7	55	6.6	79	1V+	2.5	
32	3.8	56	6.7	80	1V+	2.6	
33	4.0	57	6.8	81	1V+	2.7	
34	4.1	58	7.0	82	1V+	2.8	
35	4.2	59	1V+	0.1	83	1V+	3.0
36	4.3	60	1V+	0.2	84	1V+	3.1
37	4.4	61	1V+	0.3	85	1V+	3.2
38	4.6	62	1V+	0.4	86	1V+	3.3
39	4.7	63	1V+	0.6	87	1V+	3.4
40	4.8	64	1V+	0.7	88	1V+	3.6
41	4.9	65	1V+	0.8	89	1V+	3.7
42	5.0	66	1V+	0.9	90	1V+	3.8
43	5.2	67	1V+	1.0	91	1V+	3.9
44	5.3	68	1V+	1.2	92	1V+	4.0
45	5.4	69	1V+	1.3	93	1V+	4.2
46	5.5	70	1V+	1.4	94	1V+	4.3
47	5.6	71	1V+	1.5	95	1V+	4.4
48	5.8	72	1V+	1.6	96	1V+	4.5
49	5.9	73	1V+	1.8	97	1V+	4.6
50	6.0	74	1V+	1.9	98	1V+	4.8
51	6.1	75	1V+	2.0	99	1V+	4.9
52	6.2	76	1V+	2.1	100	1V+	5.0
53	6.4	77	1V+	2.2			

注：V=バイアルを示す。(1V:1バイアル)

深在性皮膚感染症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、びらん・潰瘍の二次感染						
成人18歳以上/用量4mg/kg/30分点滴静注/静脈内注射						
体重(kg)	必要溶液量(mL)*	体重(kg)	必要溶液量(mL)*	体重(kg)	必要溶液量(mL)*	
30	2.4	54	4.3	78	6.2	
31	2.5	55	4.4	79	6.3	
32	2.6	56	4.5	80	6.4	
33	2.6	57	4.6	81	6.5	
34	2.7	58	4.6	82	6.6	
35	2.8	59	4.7	83	6.6	
36	2.9	60	4.8	84	6.7	
37	3.0	61	4.9	85	6.8	
38	3.0	62	5.0	86	6.9	
39	3.1	63	5.0	87	7.0	
40	3.2	64	5.1	88	1V+	0.0
41	3.3	65	5.2	89	1V+	0.1
42	3.4	66	5.3	90	1V+	0.2
43	3.4	67	5.4	91	1V+	0.3
44	3.5	68	5.4	92	1V+	0.4
45	3.6	69	5.5	93	1V+	0.4
46	3.7	70	5.6	94	1V+	0.5
47	3.8	71	5.7	95	1V+	0.6
48	3.8	72	5.8	96	1V+	0.7
49	3.9	73	5.8	97	1V+	0.8
50	4.0	74	5.9	98	1V+	0.8
51	4.1	75	6.0	99	1V+	0.9
52	4.2	76	6.1	100	1V+	1.0
53	4.2	77	6.2			

*バイアルよりの抜き取り量

[6. 用法及び用量](成人)

敗血症、感染性心内膜炎

通常、成人にはダブトマイシンとして1日1回6mg/kgを24時間ごとに30分かけて点滴静注又は緩徐に静脈内注射する。

深在性皮膚感染症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、びらん・潰瘍の二次感染

通常、成人にはダブトマイシンとして1日1回4mg/kgを24時間ごとに30分かけて点滴静注又は緩徐に静脈内注射する。

キュビシン®小児における投与量体重別換算表

敗血症

1歳以上7歳未満			7歳以上12歳未満			12歳以上18歳未満		
用量12mg/kg			用量9mg/kg			用量7mg/kg		
60分点滴静注			30分点滴静注			30分点滴静注		
体重(kg)	必要溶液量(mL)*		体重(kg)	必要溶液量(mL)*		体重(kg)	必要溶液量(mL)*	
5	1.2		16	2.9		32	4.5	
6	1.4		18	3.2		34	4.8	
7	1.7		20	3.6		36	5.0	
8	1.9		22	4.0		38	5.3	
9	2.2		24	4.3		40	5.6	
10	2.4		26	4.7		42	5.9	
11	2.6		28	5.0		44	6.2	
12	2.9		30	5.4		46	6.4	
13	3.1		32	5.8		48	6.7	
14	3.4		34	6.1		50	1V+	0.0
15	3.6		36	6.5		52	1V+	0.3
16	3.8		38	6.8		54	1V+	0.6
17	4.1		40	1V+	0.2	56	1V+	0.8
18	4.3		42	1V+	0.6	58	1V+	1.1
19	4.6		44	1V+	0.9	60	1V+	1.4
20	4.8		46	1V+	1.3	62	1V+	1.7
21	5.0		48	1V+	1.6	64	1V+	2.0
22	5.3		50	1V+	2.0	66	1V+	2.2
23	5.5		52	1V+	2.4	68	1V+	2.5
24	5.8		54	1V+	2.7	70	1V+	2.8
25	6.0		56	1V+	3.1	72	1V+	3.1
26	6.2		58	1V+	3.4	74	1V+	3.4
27	6.5		60	1V+	3.8	76	1V+	3.6
28	6.7		62	1V+	4.2	78	1V+	3.9
29	1V+	0.0						
30	1V+	0.2						

深在性皮膚感染症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、びらん・潰瘍の二次感染

1歳以上2歳未満		2歳以上7歳未満		7歳以上12歳未満		12歳以上18歳未満				
用量10mg/kg		用量9mg/kg		用量7mg/kg		用量5mg/kg				
60分点滴静注		60分点滴静注		30分点滴静注		30分点滴静注				
体重(kg)	必要溶液量(mL)*	体重(kg)	必要溶液量(mL)*	体重(kg)	必要溶液量(mL)*	体重(kg)	必要溶液量(mL)*			
5	1.0	4	0.7	16	2.2	32	3.2			
6	1.2	6	1.1	18	2.5	34	3.4			
7	1.4	8	1.4	20	2.8	36	3.6			
8	1.6	10	1.8	22	3.1	38	3.8			
9	1.8	12	2.2	24	3.4	40	4.0			
10	2.0	14	2.5	26	3.6	42	4.2			
11	2.2	16	2.9	28	3.9	44	4.4			
12	2.4	18	3.2	30	4.2	46	4.6			
13	2.6	20	3.6	32	4.5	48	4.8			
14	2.8	22	4.0	34	4.8	50	5.0			
15	3.0	24	4.3	36	5.0	52	5.2			
		26	4.7	38	5.3	54	5.4			
		28	5.0	40	5.6	56	5.6			
		30	5.4	42	5.9	58	5.8			
		32	5.8	44	6.2	60	6.0			
		34	6.1	46	6.4	62	6.2			
		36	6.5	48	6.7	64	6.4			
		38	6.8	50	1V+	0.0	66	6.6		
		40	1V+	0.2	52	1V+	0.3	68	6.8	
		42	1V+	0.6	54	1V+	0.6	70	1V+	0.0
				56	1V+	0.8	72	1V+	0.2	
				58	1V+	1.1	74	1V+	0.4	
				60	1V+	1.4	76	1V+	0.6	
				62	1V+	1.7	78	1V+	0.8	

注：V=バイアルを示す。(1V:1バイアル)

*バイアルよりの抜き取り量

[6. 用法及び用量] (小児)

敗血症

通常、ダブトマイシンとして以下の用法及び用量に従い投与する。

年齢	用法及び用量
12歳以上18歳未満	1日1回7mg/kgを24時間ごとに30分かけて点滴静注
7歳以上12歳未満	1日1回9mg/kgを24時間ごとに30分かけて点滴静注
1歳以上7歳未満	1日1回12mg/kgを24時間ごとに60分かけて点滴静注

深在性皮膚感染症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、びらん・潰瘍の二次感染

通常、ダブトマイシンとして以下の用法及び用量に従い投与する。

年齢	用法及び用量
12歳以上18歳未満	1日1回5mg/kgを24時間ごとに30分かけて点滴静注
7歳以上12歳未満	1日1回7mg/kgを24時間ごとに30分かけて点滴静注
2歳以上7歳未満	1日1回9mg/kgを24時間ごとに60分かけて点滴静注
1歳以上2歳未満	1日1回10mg/kgを24時間ごとに60分かけて点滴静注



製造販売元 [文献請求先及び問い合わせ先]

MSD株式会社

〒102-8667 東京都千代田区九段北 1-13-12 北の丸スクエア

<http://www.msd.co.jp/>

【MSDカスタマーサポートセンター】

医療関係者の方：フリーダイヤル 0120-024-961

<受付時間> 9:00~17:30 (土日祝日・当社休日を除く)